



ほっころ

甲府市立北新小学校
2016. 2. 26
No. 11
発行：校長室

全国学校給食週間(1月24日~30日)

1月24日~30日が、全国学校給食週間でした。その週の給食は、いつもと少し違い、メニューが給食週間用になります。25日(月)北海道編、26日(火)九州・沖縄編、27日(水)関西・四国編、28日(木)山梨編、29日(金)中部編でした。子どもたちは、それぞれの地方の食を堪能しました。また、調理員さんといっしょに給食を食べ、食への感謝を学びました。給食委員会の児童が残菜調べを行い、食の大切さも学びました。普段当たり前のように食べていますが、一人一人の口に入るまでには、たくさんの人の手を借りています。その事への感謝がなければお



しくいただくことができません。「いただきます」は、すべての人やものへの感謝の言葉です。そんな気持ちを大切にしながら「いただきます」と食べて欲しいです。



29日(金)

むぎごはん
みそカツ
のっぺいじる
ゆでやさい
みかん

やっています



水やりや花芽つみを行いながら、たくさんの苗を育てています。

<美化委員会>



本の貸し出し、図書室に飾る掲示物の作成、読み聞かせを行っています。

<図書委員会>



体育倉庫の清掃やボール点検、集会の計画・運営等を行っています。

<体育育委員会>



給食の献立を紹介したり、給食の片付けの手伝いをしたりしています。

<給食委員会>



健康観察簿配り、歯ブラシチェック、呼びかけなどを行っています。

<保健委員会>



昼の放送、そうじの放送などを行っています。

<放送委員会>



<児童会>



月曜日の朝、登校してくる児童に向かって、大きな声で「おはよう」と呼びかけています。気持ちよいあいさつが全校でできるようにあいさつ運動に取り組んでいます。

6年生が

1月25日(月)、6年生が「琴」に挑戦しました。初めてのことばかりで大変そうでしたが、「さくら さくら」が弾けるようになりました。「練習に打ち込む姿が素晴らしい」と、講師の先生からおほめの言葉をいただきました。弦をはじくと美しい音色を奏でる日本の伝統文化を楽しむ貴重な体験をすることができました。



2月2日(火)、6年生が北中学校の細田先生による出前授業を受けました。教科は社会で、「リサイクル都市 江戸」を学習しました。中学校の先生の指導の雰囲気と学習の中身の一端を感じ取っていました。中学校生活への期待が高まり、早く中学校へ行きたいなと感じたにちがいません。私自身も江戸の町がきれいだったことを初めて知り、もっと勉強したくなりました。



音楽集会

2月5日(金)、音楽集会在開催されました。保護者や地域の皆様方に多数来校していただき、心温まる音楽集会になりました。ありがとうございました。感謝の気持ちが漂う吹奏楽の発表、休み時間自主的に練習した踊り隊の踊り、音色と歌声が響き合う全校合唱、音楽活動の楽しさを味わうことができました。音楽を通して仲間とひとつになることも学びま



ました。来年の音楽集会在が楽しみです。

ぽかぽか学習会

2月19日(金)、ぽかぽか学習会が行われました。山梨大学の吉井勘人先生から発達障害について学びました。発達障害の方々は、できない自分への焦燥感、ほっておかれることの孤独感、相手にされないことの疎外感があるので、当事者の内面を理解することが大切であると教えていただきました。私もそうですが、つい「困った子」と捉えてしまいます。そうではなく、「困っている子」と捉えることが必要です。関わり合い方も教えていただきました。「あたたかい声かけ、まなざし、見守り、適度な期待とスキンシップ」「失敗やいい加減さを許してもらえぬ雰囲気がある」ことが重要だそうです。学習会に先立って、担当から保護者へ「外は寒いけれど心はぽかぽかになる時間にしましょう」と話しましたが、参加者全員がぽかぽかな心になって帰りました。

ほめて育てましょう

最近耳にする言葉に「自己肯定感を高めよう」があります。自己肯定感とは、自分を肯定している感覚です。自己肯定感が低いと「自信がもてない」「どうせ自分なんか」「他人の言動に過敏に反応してしまう」などにおちいり、やる気がなくなり、消極的な行動をとってしまいます。「また、できなかったの」「だめだな」「そんなこともわからないの」「いいかげんにしなさい」、我が子にどれだけこんな言葉を投げかけていたのでしょうか。今、我が子の消極的な行動を通して反省しています。私のようにならないためにも、「また、できたの」「いいよ、いいよ」「すごい」「そんなこともわかったの」と、肯定する言葉かけをしていただきたいと思います。頑張りを認め、ほめて育てていきましょう。